



日本海洋コンサルタント株式会社 技術紹介

＜津波関係の解析技術＞

■ 背景

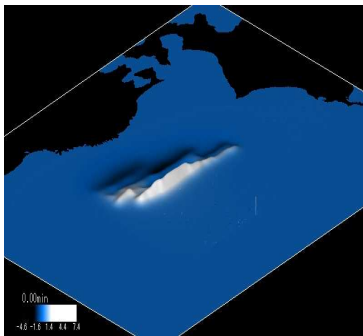
平成 23 年東北地方太平洋沖地震では、地震・津波による未曾有の被害が発生しました。現在、津波に対する基本方針の大幅な見直しが全国的に行われており、防災計画の見直しや津波対策施設の再点検が行われています。

■ 概要

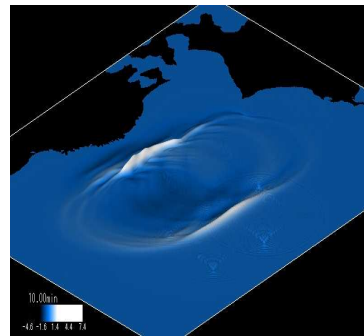
津波に対する防災計画の立案や津波対策施設の設計を行うためには、まずは津波の外力（水位、流速等）を予測しなければなりません。また、津波の外力（水位、流速等）や浸水範囲が得られると、津波対策施設の設計や津波ハザードマップの作成等、様々な検討を行うことが可能となります。

■ 検討事例

（1）津波の伝搬・遡上計算（明治三陸地震の例）



(1)地震発生直後



(2)地震発生 10 分後

また、当社では、津波の伝搬・遡上計算結果を基に、以下のような各種シミュレーションも実施しております。

- 人の避難行動シミュレーション
- 津波による地形変化予測
- 漂流物の拡散予測
- 個別要素法による小型船の漂流予測
- 粒子法によるコンテナの流出予測

■ お問い合わせ先

技術本部 水工グループ 山本(禎)

Tel : 03-3451-2102, Fax : 03-3451-2107